

令和3年度事業計画

I、植樹事業特定資産

1、大阪府「大阪羽曳野線道路休憩施設」植栽一式

松原ジャンクションの下に(株)サンプラザを中心とした商業施設の建築が始まり、令和4年春の完成に向けて府が管理する道路休憩施設周辺の緑化を完成させる。
3年計画の3年目。

2、大阪府「府立体育会館」植栽一式

年間81万人もの人が利用する大阪を代表するアリーナも竣工から34年が経過し、エントランスの植栽の枯損と老朽化が目立っている。令和2年度の正面玄関のリニューアルに続き、令和3年度は東側入り口の植栽を一新したい。

3、大阪府「万博記念公園桜の流れ」植栽一式

万国博覧会から50年を経過し、桜の流れ横の広場の桜の樹勢が衰え、桜を楽しむ状況になくなってきている。そのため令和2年度はソメイヨシノ52本を植栽したが、令和3年度はさらに28本を増植して桜の公園にふさわしい景観を作りたい。

4、大阪府「住吉公園」植栽一式

日本の歴史公園100選にも選ばれている歴史ある公園だが、50本ある桜が樹齢50年を超え枯損や老朽化が目立ち始めている。桜と松の樹木を更新して景観を取り戻したい。

5、大阪府「山田池公園」植栽一式

平成30年の風台風による倒木被害の後始末が完了したが、緑陰のない季節感のない広場になってしまった。洋風庭園にレッドロビン、オーストラリア庭園にミモザを植えて回遊式庭園を再生する。

6、大阪府「錦織公園」植栽一式

年間70万人が訪れる公園の見どころの一つとして「シャクナゲの谷」がある。シャクナゲの劣化が進んでいるため新たに200本の西洋シャクナゲを斜面に増植し散策を楽しめる景観を作りたい。

7、大阪府「長野公園」植栽一式

南河内三大名刹のひとつ河合寺に隣接した奥河内あじさい公園（総称長野公園のひ

とつ) のアジサイを充実させ、お寺の参拝とハイキングを合わせ楽しんでもらう。

8、守口市「大枝公園」植栽一式

昭和 27 年開設の大枝公園のリニューアル工事を平成 28 年に実施したが、平成 30 年の風台風で桜の枝折れなどの被害が大きく、桜並木の再生を図りたい。

9、交野市「星田駅前線」植栽一式

JR 星田駅北側に新設する星田駅前線の歩道に街路樹を植え、緑陰形成を図る。

星田駅周辺は、流通センター、商業施設、居住施設を開発し、にぎわいのある地域を創出する。

10、交野市「天野川緑地」植栽一式

交野市の中央を流れる天野川の河川敷を利用した総延長 1.6 キロメートルの桜堤をさらに充実させるため、市制 50 周年を記念して改修を図る。ライトアップ用電源施設や休憩施設の設置も同時進行し、3 年計画で 220 本の桜を植える。

11、熊取町「JR 熊取駅前夢広場」植栽一式

JR 熊取駅に通じる町道と夢広場の街路樹の再生を図る。現在ハナミズキを植えているが生育が悪く、安全確保と景観の向上のためタイサンボク 15 本を植える。

12、大阪市「鶴見緑地」植栽一式

鶴見緑地は花と緑の博覧会から 30 年。2025 年の大阪万博ではサテライト会場として再び脚光を浴びようとしている。すでにカワヅザクラ、オカメザクラ、ヨウコウザクラがパークゴルフ場西側に集中的に植えられ、大池を囲むようにソメイヨシノが植えられ来園者に人気を博している。次の万博に向け、大池西側を中心にエドヒガン、クマノザクラを 40 本、ヒトツバタゴ 10 本を植えて充実させる。

13、大阪市「正連寺川公園」植栽一式

正連寺川公園は 7 つのゾーンに分かれていて、そのうち 2 つのゾーンはすでに完成し、R3 年度は 3 つ目のゾーンを完成させる。総延長 2.5 キロメートルの内、1 キロメートルが 6 年がかりで完成する。

14、大阪市「平林小学校」植栽一式

校舎改築に伴い新しく整備されたグラウンド及び学習園への植樹を行い、児童の学習環境の向上を図る。

15、大阪市「喜連北小学校」植栽一式

プール改築により更地となった部分や、台風や虫害による倒木部分へ実のなる木、花の咲く木、果樹などを補充し、児童が身近に自然体験のできる場所の確保をする。

16、大阪市「晴明丘小学校」植栽一式

自然環境学習園と呼ばれている畑に樹種を追加することで、児童の教育環境の充実を図り、敷地外からの視線を遮る。

II、緑化事業積立資産

大阪府が整備を進めている大阪城港の整備と併せて植樹を行う。大阪城港の船着き場を新たに設置し、水都大阪へのインバウンドに備える。そのため昭和 59 年に黒田緑化事業団の寄付した樹木を一部伐採、一部移植さらには桜を中心に増植をしてみどり空間のグレードアップを図り、府民が水辺で憩うことができる空間を創出する